

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol. 33
2016.4

INDEX

コラム

① 救命救急センターについて

② DMATと業務調整員

③ 災害時における情報確保の大切さ

トピックス

院内トリアージのご案内

救命救急センター看護師の役割について

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

2016 公開医療福祉講座

江南認知症家族会

看護師・助産師・介護福祉士募集について

「看護の日」イベント開催のお知らせ

がんサロン「にじの会」のご案内

保険証の確認について

面会時間のご案内

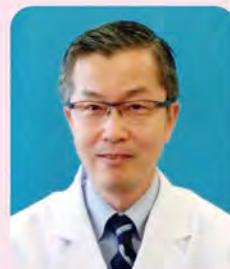
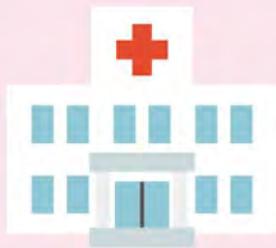
診療日カレンダー

病院理念

- ー. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- ー. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- ー. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



救命救急センターについて



副院長兼救命救急センター長
竹内 昭憲

地域社会において救急医療はそこに住む人々が安心して暮らすためにはなくてはならない仕組みです。本邦の救急医療システムは、傷病者の重症度・緊急度により初期（外来診療のみで帰宅可能：夜間休日診療所など）、二次（入院が必要な患者）、三次（意識障害、急性呼吸不全、急性循環不全、多発外傷など緊急度が高い傷病者に対応）に行政上分類されています。三次救急医療機関



とはすなわち救命救急センターをさしますが、当院は救命救急センター指定以前から三次救急医療機関が收容すべき傷病者にも対応してきており、地域の救急医療の核としての役割を担ってまいりました。当院は従前より「断らない救急」ということで年間6,000台以上の救急車の收容をしてまいりましたが、更に高度な救急患者に対応すべく昨年10月に愛知県より救命救急センターの指定を受けました。救急患者を断らないためには常に救急患者を收容する空床を確保しておく必要がありますが、当院では病床の需要がひっ迫したときは院長や看護部が陣頭指揮を執って空床を確保するよう努力しています。

現代の内科学や外科学などの医療は臓器別に発展してきていますが、これに対して救急医療では内因性であれ外因性であれ急性に発症したさまざまな病態の傷病者について対応する能力が要求されており、今後もより一層の能力向上をめざしてスタッフの教育や体制整備を進めていきます。

また救命救急センターには病院前救護すなわち救急隊の行う医療行為についての教育や活動の検証も役割の一つとして求められています。救急隊員の中には救急救命士という国家資格を持つ隊員がいて、彼らには心肺停止時の高度な器具を用いた気道確保、アドレナリンの投与が認められており、最近では心肺停止前の輸液や血糖測定・ブドウ糖の投与も認められるようになり、病院前救護の医療レベルはどんどん高度化しています。彼らの医療レベルの質を教育・検証により担保することは当然傷病者にとっての利益がゴールにあることであり、この点についてもこれまで以上に力を注いでいきたいと考えています。

また救命救急センターには病院前救護すなわち救急隊の行う医療行為についての教育や活動の検証も役割の一つとして求められています。救急隊員の中には救急救命士という国家資格を持つ隊員がいて、彼らには心肺停止時の高度な器具を用いた気道確保、アドレナリンの投与が認められており、最近では心肺停止前の輸液や血糖測定・ブドウ糖の投与も認められるようになり、病院前救護の医療レベルはどんどん高度化しています。彼らの医療レベルの質を教育・検証により担保することは当然傷病者にとっての利益がゴールにあることであり、この点についてもこれまで以上に力を注いでいきたいと考えています。



DMATと業務調整員



薬剤部
鈴木 誠

災害派遣医療チーム (Disasters Medical Assistance Team : 以下DMAT) は、医師、看護師、業務調整員で構成された災害医療チームです。DMAT発足のきっかけとなった阪神淡路大震災では、初期医療体制の遅れが原因となる「避けられた災害死」が500名存在した可能性が指摘されています。このためDMATは発災後の概ね48時間の急性期の活動が求められており、内容は現場での人命救助に加え、被災地の情報収集、医療資源の豊富な場所への傷病者の医療搬送等を行います。業務調整員は医療技術職や事務職員が担当します。薬剤師も業務調整員としてチームに参加しており、災害時に不足する要素である情報（通信）、物資、移動手段などを管理する役割があります。具体的には衛星電話等を用いた情報収集、収集した情報の発信と共有、薬品・医療機器の管理、収集した情報に基づいた効率的で安全な移動手段・経路の計画等を行います。これらの業務調整員としての業務に加えて、薬剤師の専門性を活かし、DMAT発足の根幹である避けられた災害死を減らし、一人でも多くの命を助けることに助力出来るよう、訓練に励んでいます。

災害時における情報確保の大切さ



災害時において「情報を制すものは災害を制す」と言われます。今後、南海トラフ巨大地震等の大災害が発生すると多くの被災者が発生します。しかし被災者すべてを被災地内の医療機関で診ることは不可能です。そのため被災者を被災地外の医療機関に搬送し、適切な治療を行う必要があります。その際、各医療機関の被災状況、被災者受入れ可能状況を確認するツールとしてEMIS（広域災害救急医療情報システム）があります。EMISはインターネット上に被災地域内外の医療機関が被災状況、被災者受入れ可能状況を入力することにより、医療機関どうしが情報を共有することが

できるシステムです。EMISは阪神淡路大震災後、災害時における情報の必要性が訴えられDMATと共に誕生し、東日本大震災でも活用されました。

情報はシステムが構築されていても上手く利用されなければ意味がありません。今ある情報を有効に活用し各医療機関の的確な被災状況把握、最適な医療機関への患者搬送が必要になります。その為に、DMATおよび災害拠点病院として、災害時に情報を正確に活用し多くの被災者を助けることができるよう訓練等を通じて一層の災害対策に取り組んでいきます。





院内トリアージのご案内



江南厚生病院では、H24年1月から院内トリアージを行っています。

現在、27人の看護師が担当しており、トリアージ判定で速やかに対応が必要な患者さんを判断し診療につなげています。

トリアージって何？

トリアージは、簡潔に言うと「選別」をすることです。

患者さんを選別するというと聞こえが悪いですが、患者さんの緊急度や重症度により、治療の優先度を決定して、いち早く診療につなげることが目的です。

そのため、診察の順番が前後することがありますが、ご理解とご協力お願い致します。

具体的に何をしますの？

トリアージ看護師が問診を行います。

問診とは、受診される目的や症状の程度などについての質問を行い、体温や脈拍、血圧などを測定することです。

受診について、不安や心配なことがあれば、トリアージ看護師に遠慮なく申し出てください。

救急外来では患者さんが安全に治療を受けられるよう看護師が待合におりますので、遠慮なく声をおかけください。



救命救急センター看護師の役割



救命救急センターは、専従の看護師8名と各科の外来看護師が協力して勤務しています。救急車で搬送された患者さんや院内で急に調子が悪くなった患者さんの対応、夜間や休日の時間外診療に来院された患者さんの対応をしています。さまざまな状況に応じて医師や救急救命士、放射線技師、事務員などと連携を取り、チーム一丸となって対応しています。救命救急センターの指定を受けてからは、24時間365日、救命救急センター専従の看護師が交替で勤務しており、より専門性の高い救急医療・看護が提供できるような体制を整えています。

私たちは、救急患者さんの生命を第一に考え、苦痛の緩和に努めながら、必要な検査や処置が迅速に行えるように全力をつくしています。高度な医療の提供をすると同時に、患者さんの不安の軽減など精神的ケアにも努め、患者さんだけでなくご家族にもできるだけ早めに状況説明をするなどの配慮をしています。

今後も地域の皆さんに安全で安心な医療・看護が提供できるよう努力していきたいと思っております。



2016 公開医療福祉講座

江南厚生病院では、地域住民の皆様向けに、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。今年度は、以下のような企画をしております。

参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

■ 場所：江南厚生病院2階 講堂 ■ 時間：13:30~14:30



日程と内容	6月14日(火)	健康管理センターって、どんなところ？	保健師 江口 智美
	7月26日(火)	がんと「今」を生きるために大切な事	がん看護専門看護師 宇根底 亜希子

お問い合わせは・・・江南厚生病院「医療福祉相談室」野田・大池 まで TEL 0587-51-3333(代表)

江南認知症家族会



江南認知症家族会は、「あなたを一人ぼっちにしません」を合い言葉に認知症の方を介護している、もしくは介護をしていた方を対象にした家族会です。家族会では毎月の定例会で普段困っていることや介護のコツなどをお互いに話し合ったり、時にはレクレーションで気分転換することもあります。今年の1月には江南厚生病院で和太鼓の演奏会を開催し、入院患者さんと一緒に和太鼓の体験や演奏を楽しみました。

認知症の介護は、介護者が孤独におちいることも少なくないため、介護者の皆さんが抱えている不安や悩みを互いに話し合ったりできる場が必要です。

見学や参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。定例会は毎月第1土曜日の13:30~15:00に開催しています。場所は市民文化会館2階第2会議室もしくは江南厚生病院2階講堂です。※都合により日時・会場等を変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。



申込・問合せ・・・江南認知症家族会事務局（江南中部地域包括支援センター） TEL 0587-51-3322

イベント紹介

院内コンサート Concert

1月25日(月)

ボーニ・アミーチ

オカリナ4重奏コンサートが開催されました。懐かしい曲はみんなで歌い、「カッコーワルツ」では曲中に出てくる「カッコー」を数え、今回も色々趣向が凝らされたステージになっていました。

また、4重奏はとても落ち着いた音色で、癒しのひと時を過ごせました。



2月17日(水)

The Clear Flow

ゴスペルコンサートが開催されました。とびきりの笑顔と透き通る歌声、曲に合わせた簡単な振り付けを全員で行うなど、自分自身が歌い手になったような感覚が印象的でした。歌のハーモニーとまぶしい笑顔が、会場全体を包み込んでいました。



看護師・助産師・介護福祉士 募集

< 看護部病院説明会 開催予定 > 平成29年4月採用の看護職員を募集します。

5月21日(土)	9:00~12:00 (開場8:30) 江南厚生病院2階 講堂にて
6月 4日(土)	病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学など参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。 詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。 ※選考会は8月16日(火)・8月18日(木)に行います。 お問い合わせは 看護管理室 まで TEL 0587-51-3332
6月18日(土)	
7月 2日(土)	
7月16日(土)	

「看護の日」イベント開催のお知らせ

テーマ **看護の心を みんなの心に**
～安心して下さい。みんながいます。～

開催日 平成28年5月12日(木)・13日(金)

時間 10:00~15:00

場所 江南厚生病院2階 講堂

入場は無料です
お誘いあわせの上
お越しください



身体測定・ちびっこ白衣体験・講演会・演奏会
健康相談など楽しいイベントを開催します!

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語りませんか?

平成28年度 がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 **がんを患っている患者さん**
あるいは、そのご家族
- 日時 (※変更になることがあります)
- 場所 **外来2階 多目的室**
※外来用エレベーター前
- 参加方法 **自由参加**

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
4/2(土)、5/17(火)	がん治療を支えるための緩和ケア	がん性疼痛看護 認定看護師
6/4(土)、7/5(火)	味覚・嗅覚障害があるときの工夫	がん看護 専門看護師
8/6(土)、9/6(火)	免疫ケアアップのためのリラックス方法	緩和ケア 認定看護師
10/1(土)、11/1(火)	がん治療中の筋力維持の工夫	理学療法士
12/3(土)、1/17(火)	がん治療と仕事との両立の工夫	当事者&MSW
2/4(土)、3/7(火)	治療を円滑に進めるためのコツ	化学療法看護 認定看護師

10:00~10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)
10:30~12:00 参加者同士の交流会

<お問い合わせ先> がん相談支援センター TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00~20:00	13:00~20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。
※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2016年(平成28年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

発行日/平成28年4月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300